

In-Sight® ディスプレイコントロール 5.7.3 リリースノート

© Copyright 1999-2019 Cognex Corporation. All rights reserved.

Revision: 5.7.3.5, 06/18/2019

概要

本書は、Microsoft® Windows® 用の In-Sight ディスプレイコントロールについて説明します。本書は次のトピックから構成されます。

- [In-Sight ディスプレイコントロールについて](#)
- [システム要件](#)
- [インストール](#)
- [サンプルプロジェクト](#)
- [API の変更点](#)
- [既知の問題](#)

In-Sight ディスプレイコントロールについて

In-Sight ディスプレイコントロール (CvsInSightDisplay) は、In-Sight Explorer の中核となるもので、In-Sight ビジョンシステムに接続して、画像、グラフィックスおよびスプレッドシートのデータを表示することができます。このコントロールは、Microsoft Visual C# .NET または VB .NET Windows Forms アプリケーションに挿入可能な .NET コントロール、および Visual Basic 6.0 または HMI/SCADA 環境に統合可能な ActiveX コンポーネントの両方で構成されています。

注:

- In-Sight ディスプレイコントロールのほとんどの機能は、.NET と COM/ActiveX のどちらのアプリケーションでも利用できますが、.NETでのみ、あるいは COM/ActiveX を使用していない場合にのみ利用可能な機能もあります。.NET 環境と COM/ActiveX 環境の違いの詳細については、In-Sight ディスプレイコントロールヘルプファイルを参照してください。
- In-Sight ディスプレイコントロールは、In-Sight Micro 1020、In-Sight 2000 シリーズおよび In-Sight 7020、7010、7230、7430 および 7432 ではサポートされていません。

最新のリリースノートやドキュメンテーション (各国語版も含む) は、[In-Sight オンラインサポートセンター](#)でダウンロードできます。

システム要件

この節では、In-Sight ディスプレイコントロールソフトウェアのシステム要件について説明します。

PC ハードウェア最小および推奨要件

注:

- ハードウェアの最小要件とは、In-Sight の処理負荷が低い環境で、解像度の低い In-Sight ビジョンシステムを 1 台だけ接続している PC を指します。
- 推奨されるハードウェア要件とは、同時に 4 台までの In-Sight ビジョンシステムを接続している PC を指します。

最小要件	推奨要件
1.8GHz 動作の Intel® Celeron® 1000M プロセッサ (または同等品)	2.7GHz 動作の Intel® Core™ i7 プロセッサ (または同等品)
2GB の RAM 空き容量	4GB の RAM 空き容量
4GB のハードディスク空き容量	8GB のハードディスク空き容量
24 ビットカラーで解像度 1024×768 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。	32 ビットカラーで解像度 1920×1080 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
In-Sight ビジョンシステムに接続するためのイーサネットネットワークインタフェースカード (100Mbps 以上)	In-Sight ビジョンシステムに接続するためのギガビット・イーサネットネットワークインタフェースカード

オペレーティングシステム要件

In-Sight ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムで動作することを確認しています。

- Microsoft Windows 10 Professional (64 ビット)
- Microsoft Windows 7 Professional、サービスパック 1 (64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2016

In-Sight ディスプレイコントロールはそのほかのオペレーティングシステムでも動作することがありますが、前述の要件を満たさないシステムはサポート対象外です。

言語サポート

- 中国語 (簡体字)
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- 韓国語
- スペイン語 (ヨーロッパ系)

サポートしているファームウェアバージョン

In-Sight 5.7.3 ソフトウェアには、次のファームウェアバージョンが含まれています。

- In-Sight 5.7.3
- In-Sight 4.10.5 PR1

以前のファームウェアを搭載している In-Sight ビジョンシステムは正常に動作することもあります。サポートされていない機能があり、また十分にテストが行われていません。最適なパフォーマンスを得るには、In-Sight Explorer ソフトウェアおよびファームウェアは、最新バージョンを使用してください。モデル一覧およびサポートされているファームウェアバージョンについては、英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプの「Firmware Versions」(ファームウェアバージョンのトピック) をご参照ください。英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプのデフォルトロケーションは、C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.x.x\Documentation\Help\Help_ISE_EN.chm です。

In-Sight ファームウェア 5.7.3

- In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステム
- In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Micro 8000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 9000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Advantage Engine

In-Sight ファームウェア 4.10.5 PR1

- In-Sight Micro 1000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 5000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムを除く)
- In-Sight 7000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステムを除く)

注: In-Sight ディスプレイコントロールは、In-Sight Micro 1020、In-Sight 2000 シリーズおよび In-Sight 7020、7010、7230、7430 および 7432 ではサポートされていません。

Microsoft .NET Framework 4.5

In-Sight ソフトウェアには、Microsoft .NET Framework 4.5 が必要です。システムに検出されない場合、自動的にインストールされません。

注: In-Sight ディスプレイコントロールを、Microsoft .NET Framework 3.5 を無効にしたシステムにインストールを試みているときに、Windows Update が処理中の場合、エラーメッセージが表示されることがあります: Error installing Microsoft .NET Framework; Error code 0x800f081f このエラーが発生した場合、Windows Update が完了するのを待って (再起動が必要です)、In-Sight ディスプレイコントロールをインストールしてください。

サポートしている開発環境

- Microsoft Visual Studio 2013
- Microsoft Visual Studio 2015

注: ActiveX は、Microsoft Visual Basic 6.0、Rockwell Automation FactoryTalk® View Site Edition (SE) および互換性のある ActiveX ホストアプリケーションでサポートされています。

インストール

In-Sight ディスプレイコントロールは、In-Sight ソフトウェアまたは In-Sight SDK のインストーラによってインストールされます。In-Sight ソフトウェアや In-Sight SDK をインストールするユーザには、フル管理者権限が必要です。

注: 異なるバージョンの In-Sight ディスプレイコントロールまたは In-Sight SDK で開発された COM/ActiveX アプリケーションは、このバージョンとは互換性がなく、正しく動作しません。カスタムアプリケーションをこのバージョンに合わせて再コンパイルするか、元のバージョンを再インストールしてください。(CR# 5084)

サンプルプロジェクト

In-Sight ディスプレイコントロールのサンプルプロジェクトは、次のフォルダにインストールされます:

C:\¥Users¥Public¥Documents¥Cognex¥In-Sight¥In-Sight Sample Projects 5.x.x。Microsoft Windows の [スタート] メニューから、サンプルフォルダのショートカットにアクセスすることができます。

API の変更点

In-Sight ディスプレイコントロールの、このリリースでの API の機能拡張やその他の API に関する変更点についての完全な一覧は、In-Sight ディスプレイコントロールのヘルプファイルを参照してください。

既知の問題

注: Cognex テクニカルサポートを介して報告された既知の問題を追跡しやすくするために、該当する場合に番号が付与されています。

問題番号	問題
82479	In-Sight ディスプレイコントロール 5.7.0 を、Microsoft .NET Framework 3.5 を無効にしたシステムにインストールを試みているときに、Windows Update が処理中の場合、エラーメッセージが表示されることがあります: Error installing Microsoft .NET Framework; Error code 0x800f081f 回避策: Windows Update が完了するのを待って (再起動が必要です)、In-Sight ディスプレイコントロール 5.7.0 をインストールしてください。
5771	複数バージョンの In-Sight ソフトウェアがインストールされていた状態から 1 つのバージョンをアンインストールすると、In-Sight ディスプレイコントロール (CvsInSightDisplay) を VB6、COM、または ActiveX 環境で使用する際に、以下のエラーメッセージが表示されることがあります。 コンポーネント 'CvsInSightDisplay.ocx' またはその依存関係の一部が正しく登録されていません。ファイルが存在しないか、無効です。 回避策: 問題を解消するには、Windows の [コントロールパネル] を開き、目的の In-Sight ソフトウェアインストールを選択し、修復します。 注: お使いのシステムにおいて、単一バージョンの In-Sight ディスプレイのみを COM/ActiveX に登録することができます。つまり、複数のバージョンの In-Sight ディスプレイコントロールをインストールした場合には、常に最後にインストールしたバージョンになります。旧バージョンの In-Sight ディスプレイコントロールでコンパイルしたアプリケーションは、インストールしたバージョンで動作するように見えますが、インストールバージョンとの互換性は保証されません。
5319	Abs(B2)+PairDistance(C2,0,1) や PairDistance(C2,0,1)+Abs(B2) のように、PairDistance 関数をほかの数式と組み合わせると、そのプロパティシートを正しく開くことができません。 回避策: PairDistance 関数を別のセルに移して、その関数を参照します。
5230	In-Sight ディスプレイコントロールの OPC タグを追加した場合、In-Sight OPC サーバの対応する OPC タグも、文字の大文字と小文字を正確に一致させる必要があります。2つの名前が正確に一致しない場合、OPCサーバで設定エラーが生じることがあります。
5093	カスタムの .NET 環境または ActiveX 環境の In-Sight ディスプレイコントロールで呼び出した [ファイルを開く]/[ファイルの保存] ダイアログ (CTRL+O など) は、In-Sight Explorer の [ファイルを開く]/[ファイルに名前を付けて保存] ダイアログとは動作が異なります。In-Sight Explorer では、[In-Sight センサ] のリストに、ローカルサブネット上および Explorer のホストテーブルのエントリにある全 In-Sight ビジョンシステムが表示されます。しかし、.NET 環境または ActiveX 環境の In-Sight ディスプレイコントロールでは、同じダイアログに、ローカルサブネット上、およびこのディスプレイコントロールで接続中のビジョンシステムに格納されている In-Sight のホストテーブルのエントリにある全ビジョンシステムのシステムが表示されます。